

金属部会の新年にあたっての抱負

New Year's Resolution of Metals Division

1 はじめに

金属部会は、日本技術士会が発足した 1958 年に他の 7 つの部門とともに最初の部会として誕生し、60 年を経過しようとしている。その間、日本技術士会の役員、副会長、委員長及び委員会委員等を多数輩出し本会を支えてきた。諸先輩が築いてきた伝統を維持し、更に活性化を図っていききたい。

以下に金属部会の活動状況と今後の課題について述べ、新年にあたっての抱負としたい。

2 講演会

講演会は、金属部会会員の自己研鑽と情報交換、親睦を図る上で重要な行事の一つである。できるだけ多くの方に参加していただくため、聴講者を金属部会会員に限らず広く募集し、講演会の開催日時を毎月第 3 水曜日の午後 6 時に固定し、会社勤めの方も参加しやすいように設定している。各講演会の参加者は 30 名～40 名前後であり、熱心に聞き入り活発な質疑応答を行っている。

講演内容は、金属部会会員が携わっている関連業務が主で、製造技術から利用技術に至る広い範囲にわたっている。表 1 に最近の講演内容を示す。

表 1 最近の講演内容

年月日	講演テーマ	講演者
2017. 9. 20	モータ用電磁鋼板	山崎一正氏
2017. 7. 19	ものづくりを支える材料技術とトライボロジー：製鉄設備	安藤克己氏
2017. 6. 21	通信設備・装置における腐食事例と対策	渡辺正満氏
2017. 5. 17	自動車における環境規制と対応表面技術	岡田恭明氏
2017. 4. 19	自動車の電動化と金属加工	秋吉裕和氏

3 定例部会

定例部会は、講演会が終わった後、食事休憩をはさんで約 1 時間開催している。定例部会では、今

後の行事予定、理事会報告、各委員会の報告を行い、情報交換を通じて懇親を図ると同時に、初めて参加した人の紹介も行っている。なお、活発な質疑応答で時間が足りない場合があるので、時間配分、報告の仕方等に工夫を加えていきたい。

4 技術士試験合格者歓迎会

毎年 4 月、第一次、第二次試験合格者の歓迎会を行っている。歓迎会は、数名～十数名の合格者が参加し、各人がそれぞれの抱負を述べ、先輩技術士との親睦を図っている。また、歓迎会の前に定例部会と同様の講演会も行っているため、新規入会者は金属部会の活動に触れることができ、将来、講演会の講師及び部会の役員になって部会活動に参画することが期待される。

5 役員会

役員会は、懸案事項や審議事項を議論し、金属部会全体の方針を決定している。決定事項は、議事録を通じて金属部会全会員に伝達される。最近の役員会では、新しい部会長及び副部会長を承認し、金属部会内の運用規則、特に特別顧問を追加する等の改訂案を承認した。今後も継続してこの役員会を活用し部会の円滑な運営を図っていききたい。

6 見学会

見学会は、会員にとって重要な活動である。できるだけ多くの方に参加してもらうため、他部門からの参加者も歓迎し、他部門との共同開催も行っている。見学会は、ほぼ年 1 回のペースで開催し、昨年は山口市での全国大会に合わせて宇部市で見学会を開催、西日本地区の金属部会の技術士との親睦も図った。見学先は、研究機関、鉄・非鉄の製造所、自動車工場等である。最近の見学実績を表 2 に示す。

表2 最近の金属部会見学会

年月日	見学先	場所
2017. 10. 20	超高温材料研究センター	宇部市
2016. 3. 31	物質・材料研究機構	つくば市
2014. 11. 09	九州大学伊都キャンパス	福岡市
2013. 3. 13	筑波宇宙センター	つくば市

7 新年会

新年会は、毎年、会長・副会長・専務理事・常務理事に新年の方針・抱負を語っていただき、金属部会員による年初の抱負の紹介も行い、更に、ソプラノ歌手とピアノ奏者に会を盛り上げていただき、互いの親睦を深める機会としている。

8 60周年記念行事

既に述べたとおり、金属部会は、60年前に技術士会が発足した年（1958年）に誕生した。したがって今年の秋には60周年記念を迎えるので、記念行事を行うことを計画している。なかでも“創立60周年記念誌”の作成については、金属部会創立以来、諸先輩が築き上げてきた活動の歴史を後世に残すための記録として重要であるとの認識から、準備委員会を立ち上げた。

9 同報メールシステム

金属部会会員に一斉に情報を伝達する方法として、これまでは金属部会固有のメーリングシステムを使って運用してきたが、昨年末から本会が管理する金属部会用の同報メールシステムを活用することにした。これによって講演会や見学会等の開催通知や参加者集計がより効率よく行えるようになった。更に、この同報メールシステムで金属部会ホームページを紹介することによって、受信者はホームページにその都度容易にアクセスし、多くの情報を共有することができるようになった。

しかしながら、同報メールアドレスに登録された会員のなかには、本人が管理すべきウェブ会員名簿が古いままになっている場合があり、せっかくの情報が本人に伝わっていないことが想定される。各会員に、ウェブ会員名簿を最新のものに更

新することを周知したい。

10 女性技術士

金属部会の女性技術士は10名在籍する。この人数は金属部会の在籍人数に対して2.9%で、技術士会全体平均（1.7%）と同様、依然低い比率であると認識している。このような状況の下、金属部会には技術士会第1号の女性技術士がおられた（1958年）ことに誇りを持ちつつ、今後も女性技術士が増えることを願っている。金属部会は、女性技術士の人数を増やすため、部会の役員になって活躍していただくことも有効と考える。幸い、女性技術士が金属部会の役員になり青年技術士交流委員会の委員で活躍していただいている方もおられる。今後は他の女性技術士にも金属部会の役員になっていただけるよう働きかけたい。

11 YES-Metals!

“YES-Metals!”は、金属部会の若手を中心とした有志が自主的に会合を開いて活動しているグループであり、2009年2月に発足した。現在の会員数は約300名で、幹事20名で運営している。参加対象者は若手であるが特に年齢制限はなく、金属部会会員のみならず、他部門の参加も歓迎している。また、会合に参加しやすいように毎月1回土曜日に開催している。今年秋には、発足から9年余りの短い期間に100回という記念すべき時を迎える。金属部会の60周年記念と時を同じくして、100回記念行事を計画中である。

12 その他

金属部会は、素材の製造、材料の性能、表面処理、接合等の技術に関わるので、多くの産業界即ち他の技術分野との繋がりが深い。今後とも部門間の情報交換を大切にしていきたい。

小林 経明（こばやしつねあき）
 金属部会長
 技術士（金属部門）
 連絡先（tskoba@t08.itscom.net）

